

A-15 ハシブトガラスとハシボソガラスにおける鳴管の組織的差異
○塚原直樹、中柳翔介、杉田昭栄 (宇都宮大・農・動物機能形態)
15:30~15:50 座長 昆 泰寛 (北大)

A-16 ニワトリの気道と腸管の粘膜上皮におけるトリとヒトのインフルエンザウイルス受容体の分布
○大森保成、山下陽平、伊藤真祥、佐藤 航 (名古屋大・生命農学・動物形態)

A-17 爬虫類の味蕾の微細構造
○谷口和美、Sotthibandhu Pongsiwa、吉岡一機、武藤頭一郎 (北里大・獣医解剖学研究室)
15:50~16:10 座長 北川 浩 (神戸大)

A-18 牛回腸での物質の取り込みに関与する免疫系細胞の役割
○SEIN LWIN1、佐々悠木子1、上野博史2、猪島康雄1、石黒直隆1 (1岐阜大・獣医・食品環境衛生、2岐阜大・獣医臨床放射線)

A-19 B細胞一次リンパ器官である牛回腸パイエル板および鶏ファブリキウス嚢に存在する二次リンパ組織の比較解析
○小塚祐利子1、保田昌宏1、高梨資子1,2、那須哲夫1、村上隆之1 (1宮崎大・獣医解剖、2群馬県・西部県民局 西部農業事務所)
16:10~16:30 座長 石黒直隆 (岐阜大)

A-20 ラット結腸における常在細菌の増殖と上皮細胞の動態との関係に関する計量免疫組織化学的研究
○斉 旺梅1、山本健吉1、横尾 諭2、宮田英典2、Udayanga Kankanam, G. S. 2、横山俊史2、河野潤一2、星 信彦2、北川 浩2 (1神戸大・大学院・自然科学研究科、2神戸大・大学院・農学研究科)

A-21 ラットの消化管における各種抗菌物質の分泌と常在細菌の分布との関係
○横尾 諭1、宮田英典1、斉 旺梅2、Kankanam, G. S. Udayanga1、横山俊史1、河野潤一1、星 信彦1、北川 浩1 (1神戸大・大学院・農学研究科、2神戸大・大学院・自然科学研究科)
16:30~17:00 座長 松元光春 (鹿児島大)

A-22 マウス自然流産胎盤におけるNK細胞と補体活性
○日下部 健、武下 愛、加藤啓子、岡田利也 (大阪府大・生命環境・実験動物)

A-23 分娩前後におけるマウス子宮上皮の再生
○水間なつみ、本道栄一、木曾康郎 (山口大・農・獣医解剖)

A-24 コラーゲンレセプターDDR2欠損矮小ミュータントマウス*Smallie*における排卵機能低下について
○加納 聖1、松村宏和1、Evskikova C. M. de2、Young James2、Nishina Patsy2、Naggert Jurgen2、内藤邦彦1 (1東大・農・応用遺伝、2The Jackson Laboratory)

9月25日(水) 第5会場

演題番号 A-25-49(9:00-14:10)

9:00~9:30 座長 那須哲夫 (宮崎大)

A-25 Morphological study of the genus *Echinococcus* at Qinghai province in China

○An Pham Thanh1, 2, Li Wei3, Masahiro Yasuda1, Ryoji Yamaguchi4 and Tetsuo Nasul (1Veterinary Anatomy, University of Miyazaki, 2Hanoi University of Agriculture, Vietnam, 3Qinghai University, China, 4Veterinary Pathology, University of Miyazaki)

A-26 フクロモモンガ (*Petaurus breviceps*) 雌性生殖器の形態

○小林俊夫、脇谷晶一、本道栄一、木曾康郎 (山口大・農・獣医解剖)

A-27 ラクダ胎盤の組織学的特徴

○檜山雅人1、Masoud Fayed2、本道栄一1、木曾康郎1 (1山口大・農・獣医解剖、2kafr EL-Sheikh University)

9:30~9:50 座長 山本雅子 (麻布大)

A-28 母胎環境が遺伝性ネフローゼマウス (ICGN系統) 腎病変に与える影響

○山田一内尾こずえ1、澤田京子1、國枝孝典1、眞鍋昇2 (1医薬基盤研・生物資源部、2東大・農学生命科学研究科高等動物教育研究センター)

A-29 Interferon activated gene 200 (Ifi200) 遺伝子群と自己免疫性糸球体腎炎の関連性

○市居 修1、上川昭博2、佐々木宣哉3、今野明弘1、遠藤大二4、橋本善春1、昆 泰寛1 (1北大・獣医・解剖、2北大・獣医・生化、3北大・獣医・実験動物、4酪農大・獣医・放射線)

9:50~10:10 座長 加納 聖 (東大)

A-30 マウス性腺の発生における性特異的タンパクの局在と性差

○横山俊史1、福井志穂1、谷田任司1、石原可奈1、三觜友子1、斉 旺梅2、稲元哲朗2、山本健吉2、宮田英典1、横尾 諭1、北川 浩1,2、星 信彦1,2 (1神戸大・院・農・形態機能、2神戸大・院・自然科学・形態機能)

A-31 ニホンジカ (*Cervus nippon*) 精巣における性ホルモン分泌とそのレセプター発現の季節変化は一致するとは限らない

○早川大輔1,2、佐々木基樹1,2、鈴木正嗣2,3、伊吾田宏正4、坪田敏男5、松長延吉6、宮本明夫7、北村延夫1,2 (1帯畜大・獣医解剖、2岐阜大・院連合獣医、3岐阜大・野生動物、4酪農大・生命環境、5北大・院獣医生態、6帯畜大・畜産科学、7帯畜大・院畜産衛生)

10:10~10:40 座長 木曾康郎 (山口大)

A-32 遺伝子改変性転換マウス (Ypos) の真性半陰陽個体生殖腺における形態学的解析

○宮本良介、土居弘明、田阪 健、橋本佳樹、三觜友子、谷田任司、石原可奈、荒川 勉、青木香保里、横山えりか、横山俊史、北川 浩、星信彦 (神戸大・院・農・形態機能)

A-33 Di-iso-butyl phthalate (DIBP) の精巣毒性における特異性の検討

○曉波 1、大迫誠一郎 2、Alan Mohammad Shah 1、恒川直樹 1、金井克晃 1、遠山千春 2、九郎丸正道 1 (1東大・農・獣医解剖、2東大・医・疾患生命工学センター)

A-34 雄性价破綻メカニズムとエピジェネティクス

三觜友子1、割田克彦1,2、菅原照夫3、田淵圭章4、松本由樹2、三木崇範2、石原可奈1、谷田任司1、蝦名康彦5、櫻木範明5、横山俊史1、竹内義喜2、北川 浩1、○星 信彦1 (1神戸大・院・農・形態機能、2香川大・医・神経機能形態、3北大・院・医・分子生化学、4富山大・生命科学先端研究セ・ゲノム機能解析、5北大・院・医・産婦人科)

10:40~11:00 座長 北村延夫 (帯畜大)

A-35 母体の副腎除去が胎子視床下部へ及ぼす影響

○多方章悟、山本雅子、坂上元栄、西川 修、有嶋和義 (麻布大・解剖学第二研究室)

A-36 母体由来の副腎皮質ホルモンが胎子精巣の機能に及ぼす影響

○山本雅子、宮田佳美、坂上元栄、西川 修、有嶋和義 (麻布大・解剖学第二研究室)

11:00~11:30 座長 山本欣郎 (岩手大)

A-37 Glycogen Body細胞および海馬領域由来星状膠細胞のグルタミン酸誘起性Ca²⁺反応

○今川智敬1、弘田映香2、上原正人2 (1鳥取大・農・獣医画像診断、2鳥取大・農・獣医解剖)

A-38 ニワトリ終脳における星状膠細胞の分布について

○内田真輔1,3、今川智敬2、上原正人3 (1山口大・連獣・基礎、2鳥取大・農・獣医画像診断、3鳥取大・農・獣医解剖)

A-39 ラット海馬CA1領域における虚血耐性現象とカルシウム依存性プロテアーゼ:カルパインの活性との関係について (続報)

○越智翔一、中島崇行、小川和重 (大阪府大・農・獣医解剖)

11:30~12:00 座長 今川智敬 (鳥取大)

A-40 ウサギ異顆粒性膨大後野から背側視床への投射

○柴田秀史1、本多祥子2、佐々木 宏2 (1農工大・共生科学技術・獣医解剖、2東京女子医大・医・解剖)

A-41 中脳黒質におけるグリシン作動性システムの形態学的基盤

○山本欣郎1、渡邊菜の子1、山田美鈴1、菅 世智子2、山田勝也3 (1岩手大・農・獣医細胞システム、2弘前大学・生涯学習教育研究センター、3弘前大学・医・統合機能生理学)

A-42 ソマトスタチンのプロイラー離視床下部における局在と側脳室内投与による摂食及び飲水行動への影響

○平松浩二1、中村 颯1、渡辺 純1、橋 哲也2、菅原邦生3 (1信州大・農・動物生体機構、2愛媛大・農・畜産、3宇都宮大・農・動物生産)

13:00~13:20 座長 橋本喜春 (北大)

A-43 ラットの嗅覚系における転写因子p73の発現解析

○中牟田信明1、山ロー山田美鈴2、山本欣郎2、谷口和之1 (1岩手大・農・獣医解剖、2岩手大・農・獣医細胞システム)

A-44 アフリカハイギョ嗅覚器のPGP 9.5免疫組織学的解析

○中牟田祥子、中牟田信明、谷口和之 (岩手大・農・獣医解剖)

13:20~13:40 座長 竹花一成 (酪農大)

A-45 イヌの第三眼瞼腺における糖質の局在

○安井 禎1、月瀬 東1、Meyer Wilfried2 (1日本大・獣医解剖、2Veterinary School of Hannover・Anatomical Institute)

A-46 イヌの炭酸脱水酵素アイソザイム (CA-II, VI) の第三眼瞼腺における組織局在と遺伝子発現

○杉浦陽介1、林 隆大1、市原伸恒1、西田利穂2、村上 賢3、尼崎 肇4、浅利昌男1 (1麻布大・解剖学第一研究室、2麻布大・生理学第一研究室、3麻布大・分子生物学研究室、4日獣大・獣医解剖学教室)

13:40~14:10 座長 有島和義 (麻布大)

A-47 哺乳類と鳥類における角膜の組織学的及び生化学的検討

○谷 優理1、塚原直樹1、李 銀玉1、菊地秀幸1、劉 綿芳2、二瓶賢一3、田中秀幸2、杉田昭栄1 (1宇都宮大・農・動物機能形態、2宇都宮大・農・生物化学、3宇都宮大・農・天然物有機化学)

A-48 アテロコラーゲンをを用いたブタ角膜実質細胞の三次元培養法の検討

○永易 彩、稲垣絵里子、植田弘美、竹花一成 (酪農大・獣医解剖学教室)

A-49 ダウンロード方式による教科書図類の教育利用とITによる獣医学教育先進化の試み

○橋本善春1、昆 泰寛1、伊藤茂男2、羽貝雅之3 (1北大・獣医・解剖、2北大・獣医・薬理、3 (株) 緑書房)

懇親会案内

日時：平成20年9月25日午後3時から翌朝まで

場所：青島サンクマール

URL: <http://www.cinmale.co.jp/>

会費は以下の通りです。

教授：2万円、准教授および講師：1万8千円、助教、助手およびポスドク：1万6千円、学生 (院生を含む)：1万2千円、その他：1万8千円

バス代、一泊朝食付、宴会、二次会費用込み

会費は当日会場にてお支払いください。

獣医解剖学会総会終了後、バスにて青島、堀切峠を経由し懇親会場へ移動します。9月26日には宮崎空港、南宮崎駅への無料マイクロバスをご用意します。

【日本獣医解剖学会理事会・総会】

日時：2008年9月24日 (水) 17:00— 獣医解剖学会理事会

2008年9月25日 (木) 14:20— 獣医解剖学会総会

場所：第5会場

議題：

1. 会員の国際学会派遣に関する旅費の補助について (九郎丸)
2. 会員の逝去に際しての対応について (九郎丸)
3. 今学会奨励賞の発表について (総会のみ) (村上)
4. その他

報告：

1. 会員の訃報について (理事会のみ) (上原)
2. 獣医学会理事会・分科会長会議報告 (総会のみ) (会長)
3. 編集委員会報告 (九郎丸)
4. 次回獣医解剖学会について (杉田)
5. 2008年春期獣医解剖学会奨励賞の贈呈 (総会のみ)
6. 懇親会案内 (総会のみ) (保田)
7. その他

総会において、2008年春期学術集会において奨励賞 (一般部門) を受賞された山田-内尾こずえさん (医薬基盤研究所 生物資源部)、奨励賞 (学部学生部門) を受賞された伊藤 強 (東京農工大) 君の表彰を行います。ご本人あるいは関係者の出席をお願いいたします。

獣医解剖学国際会議報告

橋本善春

ブダペスト大学 (Hungary) に於いて2008年7月23~26日に開催された「ヨーロッパ獣医解剖学会」の会期中に以下の会議が開催されました。委員として橋本善春がそれらの会議に出席しましたので、議事内容をまとめてご報告致します。

1. 「International Committee on Veterinary Gross Anatomical Nomenclature」 (国際獣医肉眼解剖学用語委員会, ICVGAN)

2008年7月26日 (土) 11:00~11:30, ブダペスト大学

出席者：Prof. Gasse (新 Chairman, Hannover), Waibl (前 Chairman, Hannover), Boos (Zuerich), Dodynicki (Poznan, Poland), Jakowiak (Poznan, Poland), Sinowatz (Munich), Maierl (Munich), Augusburger (Zuerich), Pfarrer (Hannover), Seeger (Leipzig), Simoens (Ghent), Hashimoto (Sapporo), Henry (Tennessee), Freeman (Virginia), Constantinescu (Missouri)

議題と議事内容：

1. Chairmanの交代：Prof. Gasse (前 Secretary-General, Hannover) が新 Chairman に就任し (Prof. Waibl, Hannover と交代)、就任挨拶を行った (新委員加入の要請などを含めて)。
2. Secretary-Generalの交代：Prof. Van Den Broeck (Ghent) が新 Secretary-General に就任した (Prof. Gasse, Hannover と交代)。
3. AAVA および AsAVA から出席の委員が紹介された：Prof. Freeman (Virginia), Henry (Tennessee), Constantinescu (Missouri), Hashimoto (Sapporo)。
4. 本委員会委員および Sub-Committee 委員の email address の整備を行う。今後はすべて email によって相互連絡の迅速化を図る。
5. 5th Nomina Anatomica Veterinaria (5th NAV) の Index が作成された (NHV, NEV についても作成する)。
6. ウサギに関する用語をさらに加えたい (Prof. Barone, Lyon の著書に基づく)。追加希望の用語があれば Prof. Van Den Broeck (Secretary-General) に連絡されたい (各 Sub-Committee Chairman へ送付し → 各委員へ配布する)。
7. モルモットに関する解剖学用語を採択するか否かについて今後検討

する。

8. Illustrated NAV (Prof. Schaller, Vienna, 著)を新刊第2版として刊行するか。

- ・図版を新しくする必要がある。
- ・WAVA が本書の著作権を保有している。
- ・図版を新たに作成して ICVGAN に送付願いたい (Dec. 2009 までに)。

以上

2. 「International Committee on Veterinary Histological Nomenclature」 (国際獣医組織学用語委員会, ICVHN)

2008年7月26日(土) 11:30~11:50, ブダペスト大学

出席者: (上に同じ)

議題と議事内容

1. 新 Chairman に Prof. Simoens (Ghent) が就任した (Prof. Hullinger, Purdue, USA と交代)。
2. 新 Secretary-General に Prof. Seeger (Leipzig) が就任した (今後の提案事項を Prof. Seeger に email で連絡することにより、今後 12 ヶ月間で多くの委員会活動を実施する予定)。
3. New Active Member を委員として迎えて委員会活動を活性化し、新版の獣医組織学用語集を刊行する (現在 10 名で活動しているが、20 名に増員したい。前 Chairman Prof. Hullinger, Prof. Budras にも協力を依頼する)。

- ・実質的に 12 ヶ月間では困難であり、作業期間を延長するのがよい。

以上

3. 「International Committee on Veterinary Embryological Nomenclature」 (国際獣医発生学用語委員会, ICVEN)

2008年7月26日(土) 11:50~12:20, ブダペスト大学

出席者: (上に同じ)

議題と議事内容

1. 新 Chairman に Prof. Sinowatz (Munich) が就任した (Prof. Simoens, Ghent と交代)。
2. 新 Secretary-General に Prof. Konolie (Utrecht) が就任した。
3. 新用語集を刊行したばかりであるが、新用語の検討と採択作業を継続して行う。

以上

「ANATOMIA HISTOLOGIA EMBRYOLOGIA」の名称変更と 存続に関する検討会

2008年7月26日(土) 12:30~13:30, 於 Hotel Benczur, Budapest

出席者: Profs. Sinowatz (AHE Editor-in-Chief, Munich), Freeman (WAVA 会長, Virginia), Stoffel (Bern), Henry (前 WAVA 会長, Tennessee), Leiser (EAVA 会長, Giessen), Waibl (前 WAVA 会長), Hashimoto (Sapporo), Boos (Zuerich), Seeger (Leipzig), Klish (Knottingham), Maierl (Munich), Plendl (Berlin), Simoens (Ghent), Danzer (Kopenhagen), Walter (Vienna), Bjerkas (Oslo).

経緯

1. 刊行元である Blackwell Publishing Co. で先頃編集部が改編され、新編集部から WAVA 会長 Prof. Freeman 宛に 7 月 10 日付けの書面で以下の誌名へ変更することについて打診があり、検討結果を 8 月 1 日までに回答されたい旨の検討を依頼された (提案された新雑誌名 "Plasticity of Growth and Development")。

論議内容

- ・発行部数を伸ばしてより利益を向上させたい意図がある。
- ・他の雑誌からの利益を充当させて発行を継続している。
- ・電子版はどうか (利用が困難である、利益が上らないのは同じ)。
- ・著作権の問題が存在する。

・誌名変更は Simic-Grau 賞のあり方に影響する。

・Anatomy という用語はなくせない。Morphology, Development などが入る誌名はどうか。

・(結論) 提案された新雑誌名は不適切であり、現在の誌名を継続して使用すべきである。

・AHE は WAVA に所属する学術誌であるため、次週 Vancouver で開催予定の WAVA 総会で報告する (Prof. Freeman)。

以上

中井雅晶先生のご逝去について

鳥取大学 上原正人



中井先生はこの4月から京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター主任研究員としてご活躍のところ、7月12日に心不全のため急逝されました。

先生は平成元年に宮崎大学家畜解剖学教室の助手に採用され、その後米国内リノイ大学獣医学部研究員として長く

米国に滞在していました。日本に戻られた平成17年から東京都神経科学総合研究所流動研究員としてこの3月まで働いていました。京都産業大学では近々にも教授に昇進されると伺っていました矢先でしたし、名実ともに獣医解剖学の研究者に復帰されることのできたので、有為な人材を失ったものと悔やまれます。ご冥福を祈ります。

◎日本獣医解剖学会奨励賞の決定と表彰式について

第145回日本獣医解剖学会奨励賞の審査につき、締め切り日までに応募された奨励賞審査候補発表研究については奨励賞学部学生部門が3件、奨励賞部門が2件あった。それらについて審査委員の武藤教授(北里大学)、上原教授(鳥取大学)と審査委員長として浅利(麻布大学)が厳正に審査した結果、奨励賞学部学生部門では「野生マウス *Mus musculus molossinus* と *Mus musculus musculus* における rRNA 遺伝子座の同定」を発表した東京農工大学学部学生の伊藤強氏らが、また奨励賞一般部門では「Matrix Metalloproteinase-12 はネフローゼマウス (ICG マウス) の病態進行に関与する」を発表した(独)医薬基盤研究所の山田-内尾こずえ氏らの研究内容が本賞の受賞に値すると判断され、その結果を総会にて報告した。

日本獣医解剖学会奨励賞

- ・一般部門: 第18号 山田-内尾こずえ (医薬基盤研究所 生物資源部)
- ・学部学生部門: 第9号 伊藤 強 (東京農工大)

獣医解剖学会奨励賞受賞者「喜びの声」

学部学生部門: 伊藤 強 (東京農工大)

この度は奨励賞を頂くことができ、大変喜ばしく、そして感謝しております。解剖学研究室における私の研究テーマは「野生マウス *Mus*

musculus molossinus と *Mus musculus musculus* における rRNA 遺伝子座の同定」でした。これら 2 亜種の野生マウスについて FISH 法による解析を行い、rRNA 遺伝子座の進化過程を考察しました。野生マウスでは、rRNA 遺伝子座に著しい多型があることが明らかになり、さらに、遺伝子座の分布に規則性があることも分かってきました。特に 18 番染色体の遺伝子座は全個体で共通に存在することから、rRNA 遺伝子座の起源遺伝子座である可能性が示唆されました。研究を進めれば進めるほど、学ばなければならぬことが数多くあると痛感しましたが、同時に達成感も得ることができました。現在は病理学分野で研究を行っていますが、分野を問わず生





〒 113-0024 東京都文京区西片 2-16-28

☎ 03-3818-8701 FAX 03-3818-8704

ご注文と書籍の情報は HP (<http://www.gakusosha.com>) もご利用ください。

話題の書籍

☆楽しくて不思議なトリビアの世界、待望の続編!!

●**続・ぼくとチョビの体のちがい**



佐々木 文彦 著
A5判/並製本/160頁
定価 2,100円(税込)
送料 520円

「人と犬の体ってこんなにちがうの?」体に関する様々な疑問を愉快的イラストとわかりやすい言葉で解説。前作『楽しい解剖学 ぼくとチョビの体のちがい』と2冊揃えれば、より解剖学への理解を深めることができる。犬を愛するすべての人に読んでほしい必見の一冊。



● 佐々木先生書き下ろし!
犬種ポスターつき!!

今回はこんなハテナ

- 人と犬の脳はこんなにちがう?
- 右脳と左脳のちがい?
- 別腹って本当?
- 条件反射ってな~に?
- 男の子と女の子の染色体の秘密?
- ストレスを癒してくれるホルモン?
- 犬にも鼻くそができる?
- 水を飲みながら息が吸える?
- 赤い血液の正体は?
- 恋をすると鼓動が速くなる?
- 人と犬の胃のちがい?
- 犬も夢をみているの?
- どうしてオシッコがしたくなるの? などなど・・・。

あわせて読みたい

☆続編を読む前に・・・読んで笑って楽しく学習!!

●**楽しい解剖学 ぼくとチョビの体のちがい**



佐々木 文彦 著 A5判/並製本/112頁
定価 2,100円(税込) 送料 520円

「犬の鼻ってどうして濡れてるの?」など、犬の体の不思議、犬と人の体のちがいをイラストを使ってわかりやすく解説。動物を愛するすべての人に読んでほしい、人と動物の体のちがいが面白いほどよくわかる本。

学会関連新刊書籍

☆待望の第四版ついに登場!!

●**獣医組織学《第四版》**



日本獣医解剖学会 編
A4変型判/上製本/360頁
定価 9,975円(税込) 送料 520円
CD-ROMつき

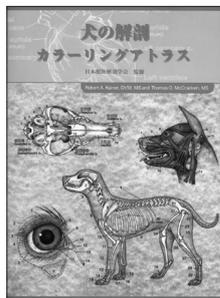
日本初の組織学のオリジナル教科書『獣医組織学』第四版。従来の内容を最新の情報に一新し、「腱」、「骨髓骨」など新たな項目も追加。また、写真も多数追加され、より高度な組織学を学ぶことができる

ように構成。知りたい情報がひとめでわかるように使いやすさ、見やすさも向上。付録のCD-ROMには書籍に掲載された写真をすべて収録。組織学を学ぶ学生だけでなく、もっと組織学について知りたい獣医師にもおすすめできる一冊。

学会関連書籍

☆自ら色づけすることで解剖学を楽しく学習!!

●**犬の解剖カラーリングアトラス**



Robert A. Kainer / Thomas O. McCracken 著
日本獣医解剖学会 監修
A4変型判/ツインリング製本/240頁
定価 3,990円(税込) 送料 520円

図版の説明に従い、名称や用語、矢印や線に自ら色を塗ることで、それぞれの器官の位置や形、大きさが明瞭となり、楽しみながら学習することができる。また、飼い主へのインフォームド・コンセントにも利用できる。

おすすめ新刊書籍

☆この2冊で軟部組織外科手術がもっと身近になる

●**犬と猫の頭・頸・胸部の外科マニュアル**

多川 政弘 監修 A4判/並製本/272頁
定価 16,800円(税込) 送料 520円

●**犬と猫の腹部外科マニュアル**

西村 亮平 監修 A4判/並製本/376頁
定価 21,000円(税込) 送料 520円



☆分子遺伝学の知識も多数取り入れた最新版

●**獣医発生学**

谷口 和之、木曾 康郎、佐藤 英明 監修
A4判/並製本/412頁 定価 9,450円(税込) 送料 520円